

# ひかりの丘

第101号

2018.3.31

社会福祉法人いわき福音協会

福島整肢療護園

〒970-8001

福島県いわき市平上平窪字

古館1番地の2

TEL.0246-25-8131

FAX.0246-22-1259

http://www.ryogoen.jp/

E-mail.info@ryogoen.jp

セタランチ ぶっかけそうめん



7月 天の川ちらし



9月 三食おはぎ



重陽の節句 懐石弁当

10月 ハロウィンメニュー



りょうぎ園では月に1回おたのしみ食があります。季節に合ったお料理でみんな楽しみにしています。

1月 小でまり寿司



11月 海鮮ケーキ寿司

## 目次

ふれあいたのしい会	2	スクープ・ニューフェイス紹介	5
クリスマス祝会	3	療護園設立から現在へと続く光の道	6・7
HAPPY通信	4	りょうぎ園カフェへようこそ!	7
		当園の将来ビジョンについて	ほか 8



福島整肢療護園は2017年に創立65周年を迎えました。  
ふれあいたのしい会は、毎年6月に執り行われていましたが、  
記念の年となる2017年は趣向を変えて9月9日(土)の開催と  
なりました。

2017年度

# ふれあいたのしい会



渡邊園長による  
開会の挨拶



創立者・大河内一郎  
先生の足跡を辿る  
パネル展



「スーパーボールすくい」「くじ」「グッズ販売」などの出店は大盛況でした。  
※写真は「ネイルサロン」



昨年引き続き、重症心身障がい児(者)の家族の会スマイルリボン様が参加してくださいました。



新人スタッフ紹介  
※写真は「ようかい体操第一」



「ミニオンズ・キュウレンジヤーション」や「吉幾三のものまね」なども披露されました。



りょうご園特製豚汁。  
多くの方に味わって  
いただきました。



焼き芋コーナー。  
さつまいもの甘い香りが  
園内に広がっていました。



2017年度

# クリスマス 祝会

12月16日(土)、クリスマス祝会が催されました。今回は、「入園者さんがご家族やスタッフと一緒にゆっくりクリスマスランチを楽しもう」という企画でした。

食事の間は、吉原副園長が制作した2017年を振り返ったスライドショーや、10月に入園者さんが招待を受けたTボール岡山大会の様子を撮影した動画などスクリーンに映し出されました。



会場の様子



入園者さんとスタッフが一緒に「キリストの降誕劇」を披露しました。



サンタさんからのプレゼント



入園者さんはプレゼントに思い思いの気持ちを表現されていました。



ちよっぴり贅沢なランチを堪能しました。



- ・カニピラフ・ミートローフ
- ・手羽先の唐揚げ
- ・パスタのポークビーンズかけ
- ・ポテトサラダ
- ・オニオンスープ
- ・ブルーツサンド
- ・デザート盛合せ



クリスマスメニュー



# Happy通信

いつもおいしいごはんを  
作ってくれて、ありがとう!!

## “おいしい〜”の先に見えるもの

松村峰樹さんと横山有里沙さんは、食事を食べている時に必ず笑顔で「おいしい〜!」と言って食べてくれます。

その笑顔を見ていると、食材を育ててくれる人や調理をしてくれる人、また私たち人間が生きていくために命を犠牲にしてくれている動物たちへのありがたさを私たちが再確認させてもらっています。

食に対する感謝の気持ちがとても真っ直ぐに伝わってきて、ほっこり温かい気持ちになります。峰樹さん、有里沙さん。療護園の食いしん坊代表としていつまでもそのステキな笑顔を絶やさないでくださいね(笑)



## こんなことがありました

春の満開の桜の木の下で



雪のクリスマスケーキ



冬には園にも雪が降りました



アクアマリンふくしまにも行ってきました



2017年はどんな年でしたか?  
楽しいこと、たくさん経験できましたか?

2018年も笑顔いっぱい  
楽しいこと、たくさん経験しましょうね。

みんな素敵な笑顔です



# 茨木優太さん突撃インタビュー



私はTボール大会開催事務局の(社)福旭川荘さんの招待を受け、11月28日〜30日に岡山に行き、「星野仙一杯争奪西日本肢体不自由Tボール交歓大会」に参加してきました。

熊本との合同チームで他県とのゲームで負けてしまいましたが、たくさんの人と触れ合い、仲間との絆、チームワークを肌で感じ、いい経験でした。また参りたいです。

# 岡山県で開催されたTボール大会に参加してきました

本誌独占スクープ



## 一番の思い出は？

福島と熊本との合同チームを組み、Tボールに参加してきました。残念ながら負けちゃいました。学校などまた違ったルールでのTボールで楽しく最後まで楽しめました。

## 困ったこと、大変だったことは？

帰りの電車待ちで、風などの事情で、連休になり、このまま待つか一泊するかで東京〜上野を行ったり来たりして、結局歩くことになり予定の時間を過ぎてしまいました。違う意味でいい思い出になりました。

## ニューフェイス紹介 new face

新たなスタッフ共々、今後ともよろしくおねがいします!!

**坂本 洋子**  
H29.4  
ひかり館看護師  
カナン村から異動

趣味…スポーツ観戦  
(特に野球はTV、スタジアムで観戦するのが好きです)  
4月からカナン村から異動し、Bチームで看護師として勤務しています。これから皆さんに教えて頂きながら一生懸命頑張りたいと思いますので御指導宜しくお願い致します。

**佐藤 佑見**  
H29.8  
ひかり館看護助手  
パート

趣味…読書 散歩・旅行  
若いつもりの、おっさん。昭和歌謡が好物です。  
仕事は「楽しく継続させる」を目指しています。好きな言葉は「二病息災、多病息災」。  
よろしくおねがいします。

**坂本美香子**  
H29.11  
ひかり館看護助手  
パート

ここでの仕事も3ヶ月過ぎて、皆さんの役に立つようになったでしょうか。  
どうぞよろしくおねがいします。

**鈴木 拓也**  
H30.1  
ひかり館介護員

趣味…カート・ミニバイク・射撃  
初めまして。1月からお世話になっております鈴木拓也です。いち早く戦力になれるよう努力いたしますので、ご指導よろしくお願い致します。

**有賀由美子**  
H29.10  
給食調理員  
契約

趣味…トレッキング・園芸  
物覚えの悪くなつての新人です。で、毎日、四苦八苦ですが、先輩方に御指導いただき、助けられながら頑張っております。どうぞよろしくおねがい致します。

**渡邊 五郎**  
H29.10  
当直員  
パート

趣味読書  
これまで夜間当直業務の経験があるので経験を生かし誠心誠意業務を遂行します。

**芦口美智恵**  
H29.4  
ひかり館看護師

趣味…フィギュアスケート鑑賞・F1鑑賞  
はじめまして。看護師の芦口です。慣れないことも多いですが御指導よろしくお願い致します。

**島 浩敬**  
H29.8  
事務部次長

趣味…マリンスポーツ映画鑑賞(特にモノクロ時代の洋画)・読書(特に藤子不二雄)  
年を取った新人ですが、これまでの経験のすべてを療護園のために生かしたいと思っておりますのでよろしくおねがいいたします。

**薄井真由美**  
H30.1  
ひかり館看護師

趣味…料理・水泳  
利用者の皆さまが、毎日安全で楽しく生活できますよう精一杯がんばらせていただきます。  
よろしくおねがいいたします。

療護園設立から  
現在へと続く光の道

## 大河内先生の 想いをたどる…



副園長 吉原 康

大河内先生が福島整肢療護園を創立し開園されたのは、今から65年余り前の1952年10月12日のことです。

既に大河内先生を知る職員もごく僅かな方々ばかりになってしまいましたが、時折その方々から機会を得て拝聴する大河内先生の人となりは、私たちの想像以上に随分と熱い方だったということです。

偉人としての大河内先生ではなく、短所も弱さも隠さない人間としての大河内先生の魅力に多くの人が惹きつけられ、先生を支え続けて来られました。

その想いを引き継ぐ私たち職員がいま何を為すべきなのか、改めて大河内先生の想いをたどりながら、探っていきたいと思えます。

大河内先生の生涯を綴った『光の丘の子どもたち』という本の中には様々な感動的なエピソードが描かれていますが、その中でも印象的なものを一つご紹介します。

「ですから、私たちは勇気を失いません。  
たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。  
今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、  
重い永遠の栄光をもたらすからです。  
私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。  
見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。」

— 聖書文書 コリント人への手紙第二 4:16~18 —

昭和二十六年十二月のある日、私は一人の若いアメリカ婦人の訪問をうけた。ミス・ルーツというアメリカンスクールの女教師だった。

私が肢体不自由児の病院を建築中であるというのを聞いて視察にきたという。私は未完成だから参考になりませんと断わったが、彼女はそれでもよいかぜひ見たいといってきかなかった。私は彼女を案内して、平窪の工事場に行った。人夫はもとより、人影すらなく、すすきの穂が白く風に揺れている向こうに、さむぎむと骸骨のような柱が林立していた。あたりはひっそりと静まりかえっていた。

ミス・ルーツは、黙々と現場を一巡すると、つと立止まって、「この建設費はどこからはいつている」とたずねた。私は苦笑しながら、「私のポケットから」と答えた。

「あなたはなぜ社会によびかけないのです」

「よびかけましたが、1万円しか集まりませんでした」彼女は首をかしげて、「社会のために働く仕事には、社会の人は助ける責任があります」と独りごとのように言うのと先に立って、丘を降りていった。

ミス・ルーツの帰った日の真夜中だった。階下の電話のベルが鳴りつづけて、やがて寝ぼけまなこの看護婦が二階にあがってくると

「先生! なんだか英語でベラベラしゃべってわかんないです。電話に出て下さい」というので、いぶかりながら電話口に出た。昼間私を訪ねたミス・

ルーツからの電話であった。

「明日の午後四時に、仙台駅まで来られるか、ご相談したい」というのであった。

つぎの日、私は診療を早く切りあげて、仙台に向かった。駅に着くと出口に、赤いオーバーを着たミス・ルーツが、若い婦人を伴って私を出迎えた。ミス・ルーツは先になって待合室にはいつていつて、あいていた椅子に腰を下ろすと、私に着席を促がした。私が座るやいなや挨拶を抜きにして「ドクター、あなたは銀行から金を借りているようですが、いくらあれば銀行に返済できますか」といきなりたずねはじめた。

私がありのままを答えると、彼女は、「ここに十六万円あります。これをお貸しします。これは教会を建てるために用意した金の全部です」といつて私の前に部厚い封筒を差し出した。私は夢のような心持ちで、ミス・ルーツの顔を見ていた。私は熱い感動を覚えるのが精いっぱいだった。借用証を書きたいのですが印鑑を持っていませんという、「そんなのはいりません、神様が証人です」といいながらつと立ち上がって売店のほうに行つて、なにか買ってくると、その包みを私の前に差し出した。ちょうどそのとき轟然と上り列車が構内にはいつてくるのが見えた。この汽車に遅れると私は翌朝まで待たねばならない。ミス・ルーツに固い握手をして改札口に駆け出した。座席に腰をおろすや汽車はゆっくり動き出した。

ミス・ルーツが改札口で手を振って



◀ミス・ルーツ

いた。

手にしていた包みの中からピーナツの函が転がり出した。

ポロポロ熱い涙がとめどもなく流れて、私は窓ガラスに額を押しつけて周囲の人の眼を避けていた。

帰宅するやきょうの感激を妻に語って喜び合った。そしてその夜の1時ごろ私はふたたび外人の呼び出し電話を受けた。横須賀海軍病院に勤務している医師アレクザンダー氏だった。もちろん一面識もない人であった。「きょうミス・ルーツからドクターオコチの話をきいた。君の仕事は神様の仕事だから四十万円を寄付したい」という意味だった。

おそらくミス・ルーツが連絡したのであろう。

ああ好運の日、夢にも想像しなかった事実がお伽噺のように実現して、銀行への返済は、国境を越えた信仰の友によって救われた。

ただ信じ合うというだけで、未知のドクターと私は固く結ばれた。療護園の生い立ちを語るにはどうしても記しておかなければならない感激だからだ。彼らは、『右の手に成せる業を左の手にて示すな』という聖句をそのまま実行して、けっして報いを求めなかった。

このことは福祉事業をやろうと志した私への尊い教訓として、心に銘じるものがあつた。



このコーナーでは、当園のスタッフが好きなこと、気になることなどを自由におしゃべりします。スタッフの新たな一面がわかるかも！  
第14回は、事務部次長の島 浩敬さんです。



## 夏の海・・・おなはま海遊祭

おなはま海遊祭は小名浜のクアマリンパークで開催される市民参加型の海のイベントです。

今から15年以上も前に磐城青年会議所(現いわき青年会議所)が小名浜の海を体で感じてもらうと、事業の一つとして始めたのがきっかけです。現在は、その時の仲間たちとクラブを立ち上げ、事業継承しています。



海上ではジェットスキー、バナナボート、キッズボートが、なんと無料で体験乗船ができます。乗船が不安だと思っている方も、乗った後はみんな笑顔になります。(ライフジャケット着用なので泳げなくても安心です)

陸上では子供の広場や物産店など盛りだくさんのイベントが行われ、毎年たくさんの方に楽しんでいただいています。

始めたころ若かった私も15年以上もやっているうちにすっかり年を取ってしまい、今では、私の娘達やその世代の若者がドライバーとなって来場者の皆さんを乗せるようになり、私のようなおじさんメンバーは受付や人員整理、乗船補助、準備・撤収の力仕事で夏の暑い日差しの中、汗だくになりながら皆さんの笑顔のために頑張っております。

今年の夏(7月)も開催予定ですので、夏の思い出作りにクアマリンパークにぜひ遊びに来てください。

開催スケジュールについては、いわき花火大会実行委員会のHPまたはおなはま海遊祭のFB等でご確認ください。



# 当園の将来ビジョンについて



園長 渡邊 信雄

平成24年の法改正により、当園は旧法に基づく肢体不自由児・重症心身障害児施設から、医療型障害児入所施設と療養介護事業所の児者併設型の施設指定を受け、子どもさんから成人の方まで、それぞれのライフステージにおいて切れ目のない支援を継続できる体制を整えて参りました。社会情勢の変化に伴い、昨今は長期に亘って施設入所を望むご本人やご家族は激減しており、ここ10年間で平均入所児者数は10名以上減少しております。一方、どんなに重度の障がいがあっても在宅での暮らしが当たり前になった現在、その普通の生活を維持・向上するために、障がいを持ったご本人やご家族のニーズは多岐に渡ってきております。

身体的機能の維持向上や、生活環境をより快適に過ごすために必須のリハビリテーション、そしてご本人を支えるご家族のためのレスパイト的なショートステイやデイサービス機能等々がその一例です。

当園では、これらの地域ニーズに応えるべく中長期的な視点に立って、老朽化した施設の全面的な建て替え計画と共に、これまでの施設機能に加え、入所型では生活介護の機能を、在宅向けには訪問看護ステーションを、更には外来機能強化の視点から、歯科・耳鼻科・眼科等を非常勤ながらワンストップで支える診療体制を構築する計画を立てておりますが、その具体化までには4~5年程度の時間を要すると考えております。

これらの構想を実現するためには、これまで以上に関係機関とのより緊密な連携が必要になって参ります。特に診療体制強化の視点で最も重要な専門医(特に整形・リハ医)の獲得については、県外の同種法人との連携強化が必須でしょうし、法人全体の施設機能見直しにも関連する事案でもありますので、法人本部と一体となり福島県やいわき市とも協議・連携しながら進める必要性があります。

福島県内、特に浜通り地区を中心とした、地域の療育センターとして生まれ変わるために、これからの1年1年はその準備に職員一丸となって取り組む必要がありますので、職員各位はもとより、当園をご利用くださるご本人やそのご家族、また関係各位のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 寄附者ご芳名(平成29年4月~平成30年2月)

ご支援をいただきました皆様へ、深く感謝を申し上げます。



▲山崎製パン様寄贈クリスマスケーキ

- 佐藤 律子
- 新妻 房子
- 高岡 忠
- 片倉 直美
- 宮嶋華代子
- 渡辺コウ子
- (有)猪狩電気工事
- 遠藤歯科クリニック
- 太丸屋三延(株)
- 日本出版販売(株)・  
日本児童図書出版協会
- 日本生命労働組合郡山支部
- ニッティングルームヒロコ  
代表 原田敬子
- タンブールパリ  
代表 原田江津子
- 服部 芳裕
- ヤマザキ製パン従業員組合  
松戸支部
- 坂本正一郎
- いわきライオンズクラブ
- 斉藤 進
- 太誠産業(株)  
(順不同・敬称略)

## 編集後記

まだまだ寒い日が続きますがみなさまお元気でお過ごしのことと存じます。

さて、今年度広報委員会はメンバーも一新され、大きな節目となる「ひかりの丘第101号」発行を迎えることとなりました。ほとんどが初めて広報委員になったという中で、周囲の方々の協力を得て無事発行できたことに感謝申し上げます。

これからは年1回の発行とし、内容を凝縮してお届けいたしますので、今後とも広報委員会をよろしくお願いいたします。(若)

## ブログ始めました!



現在は吉原先生が全て記事を投稿しています。  
療養園の生きた情報を発信できればと思っています!

アドレス <https://ryogoen.jp/wordpress/>